

2012年(平成24年)7月8日(日曜日)

脳の病気を診断し予防

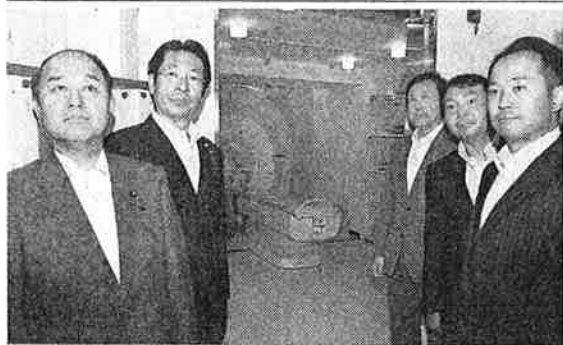
党市 最先端のMRIを視察

名古屋市

公明党名古屋市議団(三輪芳裕団長)は先ごろ、脳ドック(脳の検査)を行っている民間の診療所を訪ね、最先端のMRI(磁気共鳴画像装置)を視察した。三輪団長、福田誠治、金庭宜雄、田辺雄一、佐藤健一の各市議が参加した。

一行が訪ねた診療所は「名古屋セントラルクリニック」(同市南区)。医師らの説明によると、脳ドックは、MRIで脳の断面を画像化し脳梗塞や脳腫瘍などの病気を見つけるとともに、脳や頸部の血管を画像にして観察し未破裂脳動脈瘤などの血管の異常を発見で

きる。さらに画像データを解析することで脳の萎縮度合いから脳の状態を評価し認知症診断の支援も。同クリニックが導入したMRIは①頭部などを入れるスペースの口径が71センチと広く、圧迫感が少な



い②うるさい検査音を低減③造影剤なしで血管を撮影——などの点が特長。医師は「少しでも気になることがあれば、脳ドックを受けてほしい」と語った。脳ドックについては佐藤市議が昨年3月定例会で取り上げ、脳血管疾患について知ってもらう広報や脳ドックへの助成を提言。三輪

団長らは視察を通じ、脳ドックが脳血管疾患の予防に有効であることを確認し「多くの人が安心して受診できるように推進していく」と述べた。

MRIを視察する党市議団